

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2019年1月17日

東京都作業部会確認年月日 2019年1月29日

(契約変更に伴う再確認 2020年8月7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス 4,7）

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	大枠の合意に基づき、本件については、組織委員会・国・都が分担することとなっている。 (2020年7月31日 契約変更に伴う追記) なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	本件は、2019年3月に Games 用 PDC および晴海トリトンを構築し大会用データネットワークの本格運用を開始することに伴い必要な運用保守業務である。 組織委員会は、大会用データネットワークについて、通信サービス分野のパートナー企業である NTT に構築を発注済みであり、本業務はこの構築したネットワークを運用するものである。 そのため、当該業務における全体最適性を担保すべきとの見地からは、組織委員会が一括して執行することが効率的、効果的である。	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なもので	大会における通信環境の整備については、開催都市契約運用要件において定められており、適切な通信環境整備のために大会用データネットワーク構築し、構築したネットワークを安定的に運用する業務は必須である。 (2020年7月31日 契約変更に伴う追記) 大会延期に伴い、延期期間中の職員の業務遂行、セキュリティ対策および大会時の通信環境のために 1 年間の延長は必須である。	・ HCC-OR TEC 03,04 ・ OGG TEC 3.1.7.

あること	効率性	<p>大会用データネットワークは、NTT が構築するため、その運用保守業務についても、設計や構成等を十分に把握している NTT にて実施することが効率的である。</p> <p>なお、本件契約予定額は、V3 予算の「通信インフラ」事業の枠内に収まっている。</p> <p>(2020年7月31日 契約変更に伴う追記) 大会延期前より NTT にて運用保守業務を実施しているため、引き続き NTT にて実施することが効率的である。</p>	
	納得性	<p>本件は、通信サービス提供を責務とする通信サービス分野のパートナー企業に対する指定調達となる。</p> <p>電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービス分野のパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関し、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。</p> <p>(2020年7月31日 契約変更に伴う追記) 大会延期に伴い、延期期間中のサービスレベルは大会延期前より下げ「大会期間中の事業継続性の棄損への対策」および「最低限の IT サービス提供」とすることを確認している。</p>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<p>本件は、平成 29 年 5 月 31 日の合意に基づき、公費負担の対象としているものであり、適切である。</p> <p>(2020年7月31日 契約変更に伴う追記) 延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</p>	

* 公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2020年2月18日

東京都作業部会確認年月日 2020年3月3日

(契約変更に伴う再確認 2020年8月7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 データネットワーク関連業務委託（運用業務委託）

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	大枠合意に基づき、本件については、組織委員会・国・都が分担することとなっている。 (2020年7月31日 契約変更に伴う追記) なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	組織委員会は、大会用データネットワークについて、通信サービス分野のパートナー企業である NTT に構築を発注済みであり、本業務はこの構築したネットワークを運用するものである。 そのため、当該業務における全体最適性を担保すべきとの見地からは、組織委員会が一括して執行することが効率的、効果的である。	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なもので	大会における通信環境の整備については、開催都市契約運用要件において定められており、適切な通信環境整備のために大会用データネットワーク構築し、構築したネットワークを安定的に運用する業務は必須である。 (2020年7月31日 契約変更に伴う追記) 大会延期に伴い、延期期間中の職員の業務遂行。セキュリティ対策および大会時の通信環境のために 1 年間の延長は必須である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ HCC-OR TEC 03,04 ・ OGG TEC 3.1.7.

あること	効率性	<p>大会用データネットワークは、NTT が構築するため、その運用保守業務についても、設計や構成等を十分に把握している NTT にて実施することが効率的である。</p> <p>(2020年7月31日 契約変更に伴う追記) 大会延期前より NTT にて運用保守業務を実施しているため、引き続き NTT にて実施することが効率的である。</p>	
	納得性	<p>本件は、通信サービス提供を責務とする通信サービス分野のパートナー企業に対する指定調達となる。</p> <p>電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービス分野のパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関し、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。</p> <p>(2020年7月31日 契約変更に伴う追記) 大会延期に伴い、延期期間中のサービスレベルは大会延期前より下げ「大会期間中の事業継続性の棄損への対策」および「最低限の IT サービス提供」とすることを確認している。</p>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<p>本件は、平成 29 年 5 月 31 日の合意に基づき、公費負担の対象としているものであり、適切である。また、本件に係る経費が大会の全体経費を超過しないこととし、一層の経費削減に努める。</p> <p>(2020年7月31日 契約変更に伴う追記) 延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</p>	

* 公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。